



今年度農事

傳習會日割

神谷農試分場では本年度の農事傳習會日割を次の如く決定十六日發表した

△四月二十八日春時蔬菜の栽培に就いて矢ヶ崎技手 △五月二十七日田植、本田管理技手 △七月十二日秋時蔬菜の栽培法矢ヶ崎技手 △七月二十六日病蟲害豫防法守清太郎氏 △八月十日緑肥栽培法天辰克己 △八月二十四日川麥栽培 △九月二十三日稻の收穫調製木幡定太郎 △十月二十二日蔬菜の軟化矢ヶ崎技手 △十一月二十一日果實試作栽培法齋藤泰治 △十二月二十一日川島三千雄外一方 △二月二十九日苗床の造り方矢ヶ崎技手 △二月推肥の造り方園丸技手、三月五日苗代の作り方 △二月二十九日修得證授與式以上

郡内巡回診療

日割、決定

平署巡回診療班は次の日割で郡内の巡回診療を爲す

△十八日鹿島村△十九日箕輪村△二十日永戸村△二十一、二十二日川前△二十四日貝泊村△二十五日荷路夫村△二十六日石住村以上

日割白啼合會

平日白啼合は十五日警城訓育院に開催したが結果左の如し。

- △ヒナ鳥 第一回 一等五十一點天津風(草野) 二等曙光(遠藤) 三等峯の響(秋山) 第二回 一等四十一點中山嵐(草野) 二等梅香(川内) 三等天津風(草野)

△親鳥

第一回 一等四十七點藤(山田) 二等小波(松本) 三等勝園(藤内) 第二回 一等五十點君ヶ代(草野) 二等藤(山田) 三等松竹梅(ヒナ)

沼田一夫君

大同學院入り

鮫川本工專着手

來る二十日から 鮫川江筋大改修工事は種々の都合で着工に至らなかつたが愈々八年度豫算による四萬四千圓の

御花見の御催し宴會等の節は

敷物、幔幕等準備致し置きますから大小に不拘御用命の程を御持して居ります。折詰の御注文は特に勉強致します。

割烹 園内 亭

電話二二三〇番

花見折詰

大々的に勉強致します。御一人前二十錢より 團體の御注文は特に御相談に應じます。 平町二丁目

冬藤市

電話三〇五番

工事材料、人夫等を加藤組が請負ひ十六日上遠野村瀧地内に工事事務所を建設する二十日から本工事に着手する。 雜傭坑内で奇貨 内郷村大字鬼ヶ澤若松炭礦雜傭夫柳沼カナ(四五)は十四日午後一時頃入坑作業中疾走して來た炭車に跳ね飛ばされ頭部を強打瀕死の重傷を負つた。

花見折詰大勉強致します

大廣間を宴會場として皆様を御待ちして居ります。 御料理仕出し折詰 旅館 正月屋 平町新川町 電話六〇九番

新發明 透明障子紙 福島、茨城 宮城、栃木 四縣下一手販賣 平町四丁目 伊勢屋 阿部商店 電話四五番

腸胃 胃腸病科 花柳病科 性病科 泌尿器病科 皮膚科 肛門病科 門專 院醫科 性病腸胃村松 (番七〇一電 町南町平)

土木建築設計工事監督 土木建築出願事務取扱 大井設計事務所 出張所 建築士 大井 勇 福島縣平町仲町

ゼブラ自転車 代理店 宮田自転車 店 電話六六四番

美紋章 平町字紺屋町 術調製 吉田紋店 電話四七六番 書紋、切附紋、縫紋、絞洗 内科 小兒科 (入院應需) 藤沼醫院 電話平園五〇七

吸入用酸素 99% 度量 平衡器 体温器 寒暖計 秤ノ取緒・錘糸・修覆致シマス 寫眞 材料一式 關内藥局 電話四〇番

御會葬御禮申上候 四月十五日 川井安子 外親戚一同 平町銀行組合 謹告 來十八日縣社子銀倉神社大祭當日ハ例年通り謹而休業仕候 (但日本銀行並に縣金庫事務は平常の通り取扱申候)